

アライアンスで他言語翻訳の新サービス「honyak」をリリース

(株)アビリティコンサルタント

東京都渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア7F

☎03-6712-6018

<http://www.ab-net.co.jp/>

宿泊・観光業のHP制作の最大手(株)アビリティコンサルタントは、ホテル・旅館中心に20000サイト以上の制作実績を持つ。そんな同社がいま、力を入れているのがサイトの多言語化である。訪日外国人が増加するのにともない、宿泊の受け皿であるホテル・旅館も外国人に向けての情報発信力を備えることが急務となっているからだ。

かつては、人力に頼っていたサイト翻訳はコストが高く、時間もかかっていたが、近年では自動翻訳の精度がアップしたことでスピーディかつ低コストでの実現が可能になっている。そのひとつが(株)ミニマルテ

クノロジーズが提供するWEBサイト多言語化開発ツール「WOVN.io(ウォーブンドットアイオー)」で、最短5分でWEBサービスを30カ国語対応できる。

アビリティコンサルタントはこのほど、WOVNを提供するミニマルテクノロジーズと業務提携し、2017年9月12日から、ホテル・宿泊・観光サイト専門の多言語翻訳サービス「honyak(ホンヤック)」の提供を開始している。

海外SEOにも対応

新サービス「honyak」の特徴は、まず翻訳品質の高さにある。翻訳チームによる人力翻訳チェックを行ない修正。修正された部分はWOVNのシステム翻訳データとして蓄積されていくのでホテル独自の表現も適切に翻訳されるわけだ。しかも、外国語検索に対応しているだけで、海外SEOに対応可能。それだけ外国人の目に触れる機会が増えるということだ。

さらに、自動翻訳では不可能だった文字埋込みの画像も差し替えも可能とする機能が搭載されているので、

日本語サイトのイメージをそのまま伝えることができる。インバウンドアドバイザーとして、経験豊富な宿泊・観光系サイト作成のプロが徹底サポートするので正確なだけでなく、見るからに魅力的な海外向けサイトの構築も可能となる。

もちろん、経済性の高さも魅力で、初期開発が不要だから低コストで実現できるし、従来の人力翻訳の流れだと「翻訳原稿抽出↓翻訳発注↓翻訳反映作業」という工程をhonyakが担うため、制作納期は最大3分の1まで短縮される。

対応言語は現在のところ、英語、韓国語、中国語(繁体字、簡体字の2種類)、ベトナム語の4ヶ国語。費用は初期設定5万円、月額は入力メンテナンスまで含めて3言語4万円、4言語5万円。文字数が少ないページは高くつく可能性もあるが、人力翻訳だと100万文字で500万〜1000万円が相場と言われているだけに、非常にコストパフォーマンスの高いサービスとなる。

「お知らせページのように頻繁に1更新するページについては1言語6000円の費用がかかりますが、

とくに設ける必要はありません。インバウンド向きの情報がある時だけ翻訳するなど、翻訳するだけでなく、臨機応変に対応していきます」

アビリティコンサルタント東京本社WEB事業統括本部の水野真寿本部長はそう語り、今後翻訳修正スタップが揃っていけば対応言語も増やしていきたいという。



WOVN.io

honyak(ホンヤック)公式サイト

<http://www.honyak.jp/>

ホンヤック
honyak 5つの特徴

1. 納期が従来の1/3
2. 低コスト
3. 安心の翻訳品質
4. 海外SEO対応
5. インバウンドアドバイザー